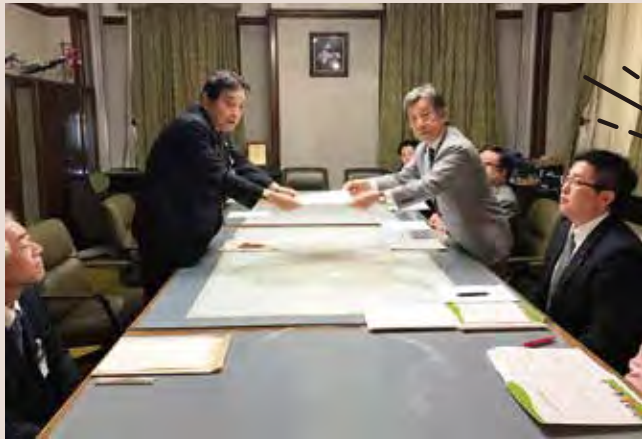


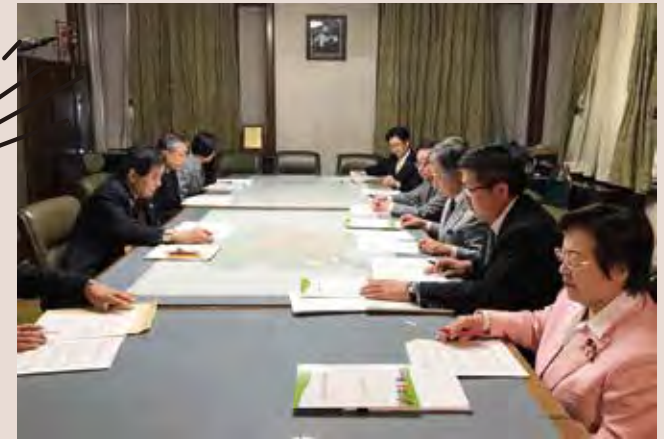


平成 29 年度予算要望 2016 年 9 月 9 日

「安心・豊かさ・平和」を将来世代に引き継ぐために

昨年9月に「平成29年度 予算要望書」を名古屋市長に提出しました。

これは、私たち民進党名古屋市議団が地域の活動を通じて皆様から寄せられた意見を集約し、政策提言として取りまとめたものです。その取り組みにより、平成29年度の予算がつき、名古屋市で実施していくこととなった重点施策の中から抜粋して、ここにご報告いたします。



平成29年度予算再要望 2017年1月16日

チルドレン ファースト

子育て世代が、笑顔で暮らせるまちに

「次世代を担う子どもたちを、生み育てやすい環境をつくること」。私たち民進党は一貫してこれを最重要課題と掲げ、名古屋市に対して提言を行っています。子どもたちが健やかに育つ、バランスの良い子育て支援を目指しています。

29年度の
重点施策

- ・「働き方改革」推進事業
- ・保育所等利用待機児童対策
- ・私立幼稚園の授業料補助の増額
- ・放課後事業の推進
- ・児童福祉法等改正に伴う児童虐待防止対策の強化
- ・子ども食堂推進事業助成
- ・私立高校の授業料補助の堅持
- ・高等学校給付型奨学金の支給

安心・豊かさ・ 平和の継承

市民のいのちと生活を守り、 未来へつなげていきます

「安心・豊かさ・平和」を将来世代に引き継ぐため、大規模地震や災害対策の充実、高齢者・障害児(者)福祉、医療の充実から食の安全まで、多岐にわたる課題に対して果敢に取り組み、バランスの良い名古屋市政を実現すべく、全力を傾けています。

29年度の
重点施策

- ・指定緊急避難場所および指定避難所に係る標識の設置
- ・熊本地震を教訓とする災害応急対策の検討調査
- ・災害用食糧等の購入
- ・救急隊増隊のための特別消防隊第二方面隊庁舎の改修

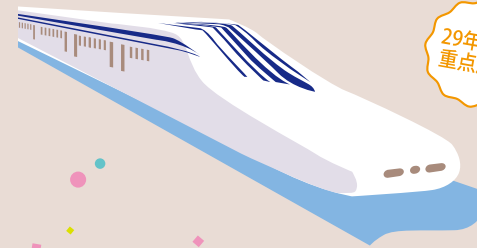
都市魅力 の向上

国際的な都市間競争を勝ち抜く、強い名古屋に

2027年のリニア中央新幹線の東京ー名古屋間の開業を見据えて、名古屋駅周辺の新たなまちづくりが急速に進展しています。また、本丸御殿第二期公開や新たにオープンしたレゴランドなど、さらなる魅力を備えた「観光都市名古屋」への取り組みを進めています。

29年度の
重点施策

- ・栄地区まちづくりプロジェクトの推進
- ・中川運河水上交通定期運航のモニタリング調査等
- ・空見地区における大規模展示場整備に関する調査
- ・国際展示場コンベンション施設整備に関する調査
- ・名駅周辺まちづくり
- ・名古屋城本丸御殿復元および全体の魅力向上
- ・金シャチ横丁
- ・熱田神宮界隈の回遊性向上
- ・ランス市との姉妹都市提携に向けた交流事業
- ・ノーベル賞受賞者顕彰施設整備検討調査
- ・ユニバーサルデザインタクシーの導入補助
- ・杉原千畝 人道の道PR事業
- ・公式PRソングの募集・制作
- ・新堀川における悪臭対策



LEGOLAND® Japan 提供



金城ふ頭～堀止を結ぶ水上交通(イメージ)



PICK UP!

議会だより 2月定例会 ～代表質問より～

TOPICS1

市民税減税は庶民に恩恵なし

名古屋市では市民税一律減税が6年続いています。市民の皆さんから「減税で生活が楽になった」とか「消費に充てられるお金が増えた」という話は聞こえてきません。

117億円を市民に還元する減税ですが、そのほとんどは高額所得者・大企業にばかり還元されています。市民の約8割は減税ゼロ、もしくは5000円以下の減税であるのに対し、もっとも減税額の大きかった人は373万円。法人市民税では、中小企業のほとんどが減税額2500円以下であるのに対し、上位1%の大企業に減税総額の65%(約23億円)が還元されています。もっとも減税額が大きかった企業の減税額は1億4600万円。

これを「庶民減税」などと言えるはずがありません。

TOPICS2

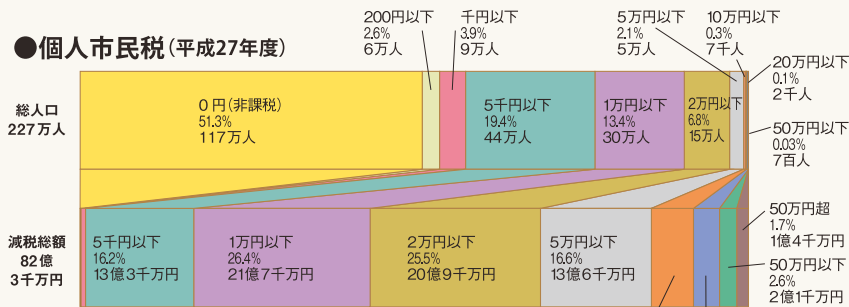
特定不妊治療、独自に支援制度

名古屋市は特定不妊治療の経済的負担を軽減するための支援制度を創設します。精神的・体力的にも大変な負担がかかる体外受精・顕微授精について、現在行われている国の補助制度に加え、市が独自の補助制度を作り、新たな生命の誕生を応援します。「生まれてくる前の子どもに対してもしっかりと支援をする」、これが未来への投資です。

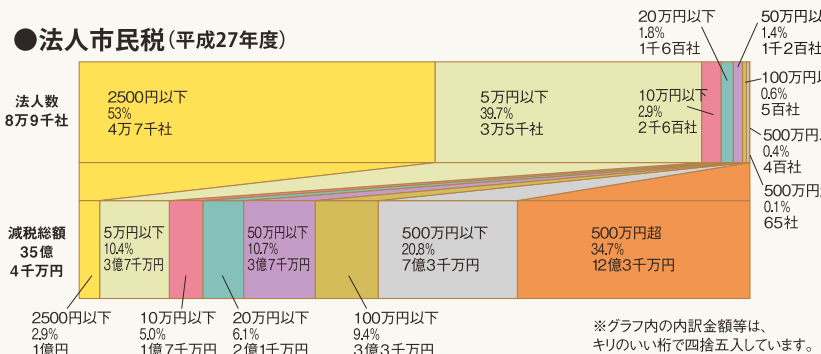
本会議において、橋本ひろき氏が民進党名古屋市議団を代表して河村市長に質問をしました。持ち時間71分の大部分を、「人への投資、未来への投資」というテーマに充て、子育て支援については、子育てバウチャーや特定不妊治療費助成など河村市長から具体的な答弁も引き出すことができました。残念なのは市民税減税によって、本来ならば未来への投資に使うべき予算をいわゆる「お金持ち」に還してしまっていること。詳しくは下記をご参照ください。



●個人市民税(平成27年度)



●法人市民税(平成27年度)



※グラフ内の内訳金額等は、キリのいい桁で四捨五入しています。

民進党市議団に新たな仲間が加わりました

昨年12月に行われた名東区の補欠選挙において、**ひび美咲氏**が初当選しました。急性白血病で35歳の若さで急逝した故ひび健太郎議員の遺志を継ぎ、活動を続けています。2月定例会では本会議に初登壇し、名古屋市長に骨髄移植ドナー登録制度の充実を求めました。これに対して河村市長からは、「ドナー本人や勤務先への助成について、県にも働きかけをしていく」と答弁を引き出すことができました。

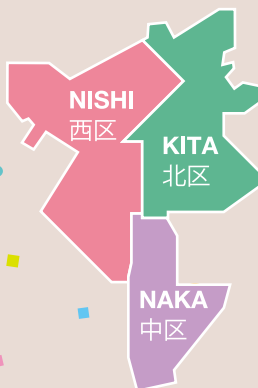


MINSHIN Press

|2017年 春号

号外

中区／西区／北区版



私たちは
民進党名古屋市議団です。

私たちは、約束します。

まつり
市の政は、
市民のためにこそ。

市政につなぐ。
あなたの声、
その想い。

うえぞの晋介は、家庭を持つ世代が、希望を持って子を産み育て、子どもたちを守り学べる環境づくりに全力を尽くします。また「社会的弱者」と言われる方々の声、想いを市政につなぐ、希望ある暮らしの実現に取り組みます。

西区

うえぞの晋介

Uezono Shinsuke

現1期 昭和50年12月生まれ

大阪航空技術専門学校卒業

[役職]

●都市消防委員会 委員

●都市活力向上特別委員会 副委員長

北区

はっとり将也

Hattori Masaya

現5期 昭和43年8月生まれ

国学院大学法学部卒業

[役職]

●議会運営委員会 委員長

●教育子ども委員会 委員

●公社対策特別委員会 委員

※党市会議員団 幹事長

Contents

チルドレン ファースト

子育て世代が、笑顔で暮らせるまちに

安心・豊かさ・平和の継承

市民のいのちと生活を守り、

未来へつなげていきます

都市魅力の向上

国際的な都市間競争を勝ち抜き、強い名古屋に



議員は市民の代弁者。
私は皆さんの声になります!

中区

塚本つよし

Tsukamoto Tsuyoshi

現1期 昭和55年8月生まれ

立命館大学法学部

早稲田大学大学院ファイナンス研究科

卒業

[役職]

●経済水道委員会 委員

●産業・歴史文化・観光戦略特別

委員会 委員

PICK UP!

議会だより 2月定例会 ～代表質問より～

TOPICS1

市民税減税は庶民に恩恵なし

名古屋市では市民税一律減税が6年続いています。市民の皆さんから「減税で生活が楽になった」とか「消費に充てられるお金が増えた」という話は聞こえてきません。

117億円を市民に還元する減税ですが、そのほとんどは高額所得者・大企業にばかり還元されています。市民の約8割は減税ゼロ、もしくは5000円以下の減税であるのに対し、もっとも減税額の大きかった人は373万円。法人市民税では、中小企業のほとんどが減税額2500円以下であるのに対し、上位1%の大企業に減税総額の65%(約23億円)が還元されています。もっとも減税額が大きかった企業の減税額は1億4600万円。

これを「庶民減税」などと言えるはずがありません。

TOPICS2

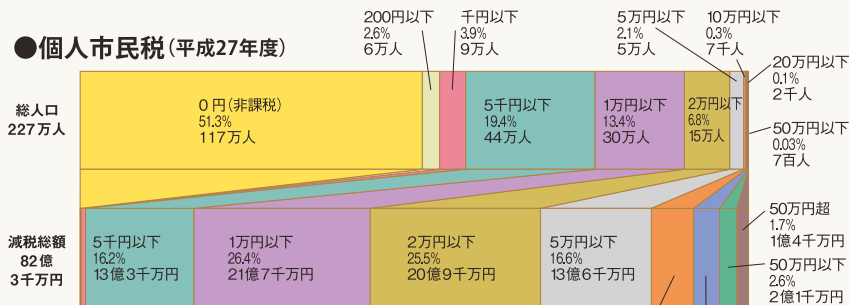
特定不妊治療、独自に支援制度

名古屋市は特定不妊治療の経済的負担を軽減するための支援制度を創設します。精神的・体力的にも大変な負担がかかる体外受精・顕微授精について、現在行われている国の補助制度に加え、市が独自の補助制度を作り、新たな生命の誕生を応援します。「生まれてくる前の子どもに対してもしっかりと支援をする」、これが未来への投資です。

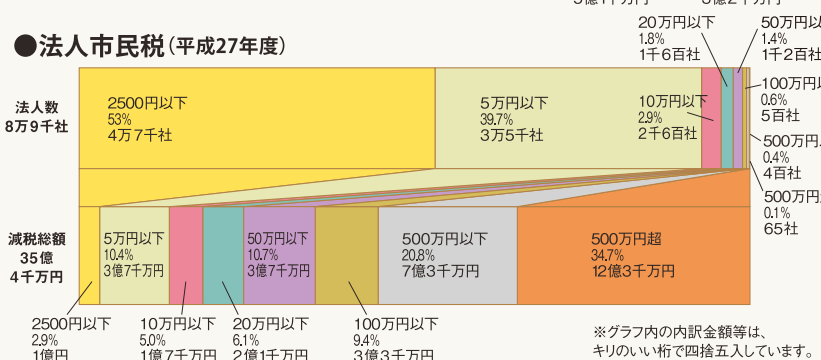
本会議において、橋本ひろき氏が民進党名古屋会議団を代表して河村市長に質問をしました。持ち時間71分の大部分を、「人への投資、未来への投資」というテーマに充て、子育て支援については、子育てバウチャーや特定不妊治療費助成など河村市長から具体的な答弁も引き出すことができました。残念なのは市民税減税によって、本来ならば未来への投資に使うべき予算をいわゆる「お金持ち」に還してしまっていること。詳しくは下記をご参照ください。



●個人市民税(平成27年度)



●法人市民税(平成27年度)



※グラフ内の内訳金額等は、キリのいい桁で四捨五入しています。

民進党市議団に新たな仲間が加わりました

昨年12月に行われた名東区の補欠選挙において、**ひび美咲氏**が初当選しました。急性白血病で35歳の若さで急逝した故ひび健太郎議員の遺志を継ぎ、活動を続けています。2月定例会では本会議に初登壇し、名古屋市長に骨髓移植ドナー登録制度の充実を求めました。これに対して河村市長からは、「ドナー本人や勤務先への助成について、県にも働きかけをしていく」と答弁を引き出すことができました。

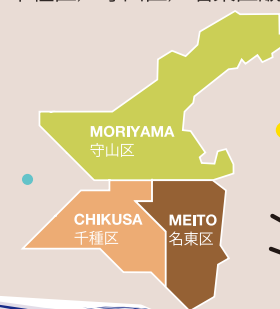


MINSHIN Press

|2017年 春号

号外

千種区/守山区/名東区版



私たちは
民進党名古屋市議団です。

私たちは、約束します。

Contents

チルドレン ファースト

子育て世代が、笑顔で暮らせるまちに

安心・豊かさ・平和の継承

市民のいのちと生活を守り、
未来へつなげていきます

都市魅力の向上

国際的な都市間競争を勝ち抜き、強い名古屋に

千種区

山田昌弘

Yamada Masahiro
現2期 昭和45年9月生まれ
名古屋商科大学商学部卒業
古川元久衆議院議員 秘書
[役職]
●教育子ども委員会 委員長
●公社対策特別委員会 委員
*党市会議員団 広報委員長

声なき声に
耳を傾ける
政治を実現します。

政治は派手なことだけでなく、地道に生活に寄り添い、声なき声を集めることから始めると私は信じています。目立たなくても本当に困っている人に寄り添い、そういった方を少なくするよう取り組んでいきます。

千種区

さいとうまこと

Saito Makoto
現6期 昭和35年1月生まれ
名古屋大学法学部法律学科卒業
[役職]
●教育子ども委員会 委員
●安心・安全なまちづくり対策特別委員会 委員

敬老パスを
私鉄利用できるよう
取り組んでいます!

私の住む守山区は少子高齢化の時代において子どもがどんどん増えているありがたい地域であり、最も人口の多いのは私と同じ40歳代です。責任ある世代の中心となり、各世代に行き届いた政策を提案できるよう取り組んでいきます。

守山区

小川としゆき

Ogawa Toshiyuki
現3期 昭和51年3月生まれ
成城大学経済学部卒業
古川元久衆議院議員 秘書
[役職]
●市議会 監査委員
●経済水道委員会 副委員長
●防災・エネルギー対策特別委員会 委員

名東区

ひび美咲

Hibi Misaki
現1期 昭和60年1月生まれ
千葉県立船橋北高等学校卒業
[役職]
●経済水道委員会 委員
●防災・エネルギー対策特別委員会 委員
●大都市制度・広域連携促進特別委員会委員

働く母の目線で市政
をみつめ、次の世代
へ想いをつなぎます。

私の大好きな名東区は子育て世代が多く住む街です。働くお母さんの目線で、次世代を担う子ども達をしっかりと政治の力で支えていく事が大切だと考えます。今を一生懸命生きる方達の想いを、市政へとつなげて行きます!

PICK UP!

議会だより 2月定例会 ～代表質問より～

TOPICS1

市民税減税は庶民に恩恵なし

名古屋市では市民税一律減税が6年続いています。市民の皆さんから「減税で生活が楽になった」とか「消費に充てられるお金が増えた」という話は聞こえてきません。

117億円を市民に還元する減税ですが、そのほとんどは高額所得者・大企業にばかり還元されています。市民の約8割は減税ゼロ、もしくは5000円以下の減税であるのに対し、もっとも減税額の大きかった人は373万円。法人市民税では、中小企業のほとんどが減税額2500円以下であるのに対し、上位1%の大企業に減税総額の65%(約23億円)が還元されています。もっとも減税額が大きかった企業の減税額は1億4600万円。

これを「庶民減税」などと言えるはずがありません。

TOPICS2

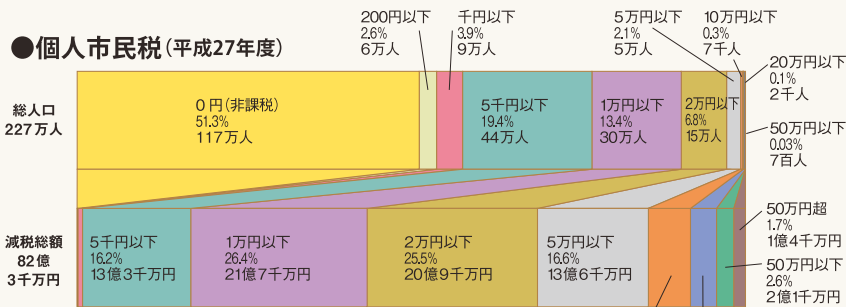
特定不妊治療、独自に支援制度

名古屋市は特定不妊治療の経済的負担を軽減するための支援制度を創設します。精神的・体力的にも大変な負担がかかる体外受精・顕微授精について、現在行われている国の補助制度に加え、市が独自の補助制度を作り、新たな生命の誕生を応援します。「生まれてくる前の子どもに対してもしっかりと支援をする」、これが未来への投資です。

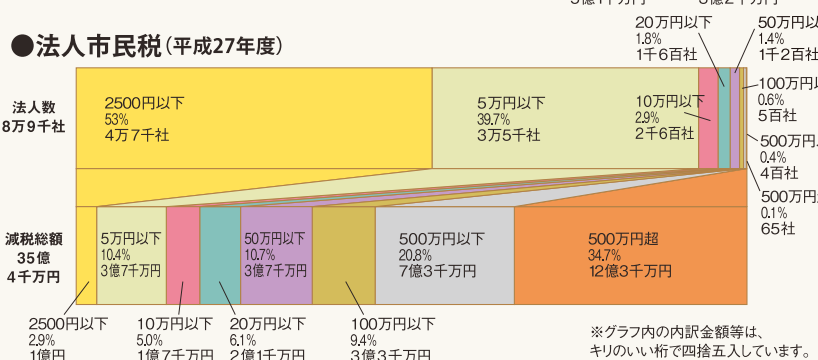
本会議において、橋本ひろき氏が民進党名古屋会議団を代表して河村市長に質問をしました。持ち時間71分の大部分を、「人への投資、未来への投資」というテーマに充て、子育て支援については、子育てバウチャーや特定不妊治療費助成など河村市長から具体的な答弁も引き出すことができました。残念なのは市民税減税によって、本来ならば未来への投資に使うべき予算をいわゆる「お金持ち」に還してしまっていること。詳しくは下記をご参照ください。



●個人市民税(平成27年度)



●法人市民税(平成27年度)



※グラフ内の内訳金額等は、キリのいい桁で四捨五入しています。

民進党市議団に新たな仲間が加わりました

昨年12月に行われた名東区の補欠選挙において、**ひび美咲氏**が初当選しました。急性白血病で35歳の若さで急逝した故ひび健太郎議員の遺志を継ぎ、活動を続けています。2月定例会では本会議に初登壇し、名古屋市長に骨髄移植ドナー登録制度の充実を求めました。これに対して河村市長からは、「ドナー本人や勤務先への助成について、県にも働きかけをしていく」と答弁を引き出すことができました。

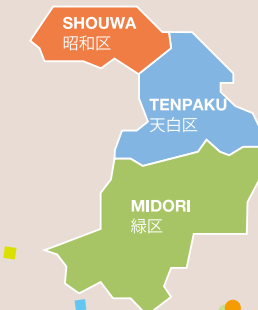


MINSHIN Press

|2017年 春号

号外

昭和区／天白区／緑区版



私たちは
民進党名古屋市議団です。

私たちは、約束します。

Contents

チルドレン ファースト

子育て世代が、笑顔で暮らせるまちに

安心・豊かさ・平和の継承

市民のいのちと生活を守り、
未来へつなげていきます

都市魅力の向上

国際的な都市間競争を勝ち抜き、強い名古屋に

昭和区

おくむら文洋

Okumura Fumihito
現8期 昭和26年7月生まれ
南山大学経済学部卒業
参議院議員森下昭司秘書
[役職]
●土木交通委員会 委員
●都市活力向上特別委員会 委員
*党市会議員団 団長

全国に誇れる
名古屋の街づくりを
推進します。

明日へ、未来へ、責任と実行力のある地域施策を推進します。日本一の先進医療都市、子育て日本一の都市、心通う福祉充実の都市、全国から世界から人々が集う観光都市など魅力と活力溢れる名古屋へ向け、力強く前進を図ります。

緑区をもっと豊かに!
市政をもっと身近に!

私は『緑区をもっと豊かに』をモットーに、緑区、そして名古屋市のさらなる発展のため、行政との「窓口役」として地域の声を誠実に届け、ひとつひとつ実現に向けて取り組みます。

緑区

岡本やすひろ

Okamoto Yasuhiro
現3期 昭和51年11月生まれ
大同工業大学高等学校卒業
衆議院議員 近藤昭一秘書
[役職]
●議会運営委員会 委員
●総務環境委員会 副委員長
●防災・エネルギー対策特別委員会 委員長
*党市会議員団 副幹事長兼財務委員長

暮らしをまもる・命を
まもる・自然をまもる。

「名古屋に住んでよかった」こんな声を聞くために「暮らし」・「命」・「自然」をまもる、こんな思いで市政に取り組んでいます。子どもから高齢者まで、各世代の様々な多くの問題解決のため全力を尽くします。

緑区

松本まもる

Matsumoto Mamoru
現1期 昭和38年7月生まれ
星城高等学校 普通科卒業
名古屋鉄道労働組合 政策担当
[役職]
●議会運営委員会 委員
●土木交通委員会 副委員長
●産業・歴史文化・観光戦略特別委員会 委員
*党市会議員団 幹事

天白区

田中りか

Tanaka Rika
現6期 昭和38年3月生まれ
椋山女学園大学文学部英文科卒業
衆議院議員赤松広隆 秘書
[役職]
●土木交通委員会 委員
●大都市制度・広域連携促進特別委員会 委員
●名古屋港管理組合議会 副議長

生活する人の立場で。
働く人の立場で。

私たちの街、天白区は地下鉄も便利な住宅地でありながら、中心部には川が流れ、緑地も多く残っています。これら自然の恩恵を大切にしながら、いかに共存していくかがテーマです。常に働く女性の目線で活動しています。

PICK UP!

議会だより 2月定例会 ～代表質問より～

TOPICS1

市民税減税は庶民に恩恵なし

名古屋市では市民税一律減税が6年続いています。市民の皆さんから「減税で生活が楽になった」とか「消費に充てられるお金が増えた」という話は聞こえてきません。

117億円を市民に還元する減税ですが、そのほとんどは高額所得者・大企業にばかり還元されています。市民の約8割は減税ゼロ、もしくは5000円以下の減税であるのに対し、もっとも減税額の大きかった人は373万円。法人市民税では、中小企業のほとんどが減税額2500円以下であるのに対し、上位1%の大企業に減税総額の65%(約23億円)が還元されています。もっとも減税額が大きかった企業の減税額は1億4600万円。

これを「庶民減税」などと言えるはずがありません。

TOPICS2

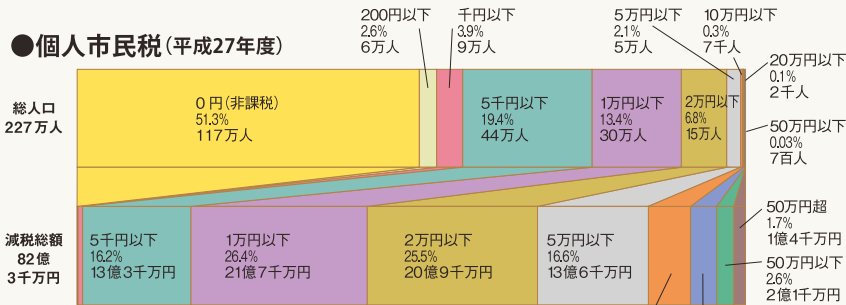
特定不妊治療、独自に支援制度

名古屋市は特定不妊治療の経済的負担を軽減するための支援制度を創設します。精神的・体力的にも大変な負担がかかる体外受精・顕微授精について、現在行われている国の補助制度に加え、市が独自の補助制度を作り、新たな生命の誕生を応援します。「生まれてくる前の子どもに対してもしっかりと支援をする」、これが未来への投資です。

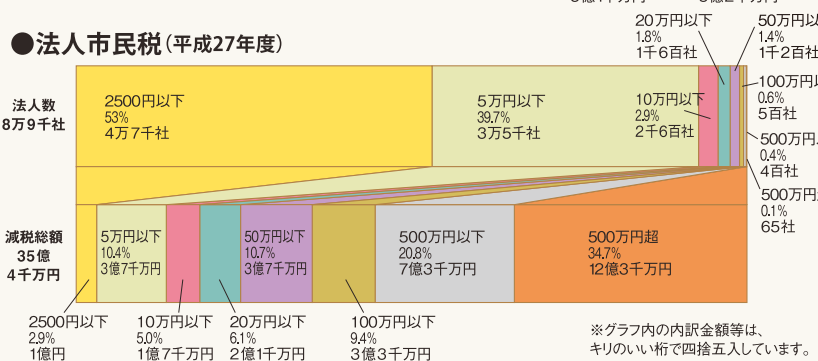
本会議において、橋本ひろき氏が民進党名古屋会議団を代表して河村市長に質問をしました。持ち時間71分の大部分を、「人への投資、未来への投資」というテーマに充て、子育て支援については、子育てバウチャーや特定不妊治療費助成など河村市長から具体的な答弁も引き出すことができました。残念なのは市民税減税によって、本来ならば未来への投資に使うべき予算をいわゆる「お金持ち」に還してしまっていること。詳しくは下記をご参照ください。



●個人市民税(平成27年度)



●法人市民税(平成27年度)



※グラフ内の内訳金額等は、キリのいい桁で四捨五入しています。

民進党市議団に新たな仲間が加わりました

昨年12月に行われた名東区の補欠選挙において、**ひび美咲氏**が初当選しました。急性白血病で35歳の若さで急逝した故ひび健太郎議員の遺志を継ぎ、活動を続けています。2月定例会では本会議に初登壇し、名古屋市長に骨髄移植ドナー登録制度の充実を求めました。これに対して河村市長からは、「ドナー本人や勤務先への助成について、県にも働きかけをしていく」と答弁を引き出すことができました。

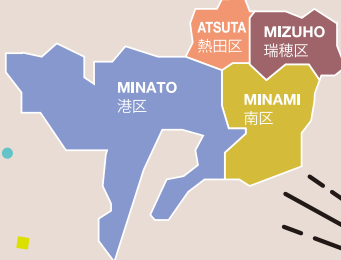


MINSHIN Press

|2017年 春号

号外

南区／港区／熱田区／瑞穂区版



私たちは
民進党名古屋市議団です。

私たちは、約束します。

Contents

チルドレン ファースト

子育て世代が、笑顔で暮らせるまちに

安心・豊かさ・平和の継承

市民のいのちと生活を守り、
未来へつなげていきます

都市魅力の向上

国際的な都市間競争を勝ち抜き、強い名古屋に

港区

加藤かずと

Kato Kazuto

現5期 昭和36年6月生まれ
愛知学院大学文学部卒業
[役職]

- ・市議会 議長
- ・都市消防委員会 委員
- ・防災・エネルギー対策特別委員会 委員

目線は低く志は高く。
未来への責任。

命を守るために、南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた防災減災対策を実施します。また、レゴランドのオープンに加えて、金城ふ頭と名古屋駅を結ぶ水上交通網(中川運河経由)も実現の運びとなりました。これからは港エリアの魅力向上と整備を推進していきます。



敬老バスを
名鉄・JRでも
利用可能に!

高齢者福祉における地域間格差を是正するために、敬老バスを他の交通機関にも利用拡大できるよう、先頭によって取り組んでいます。生まれ育った南区のために、地域密着・現場主義をモットーに、常に全力投球!

南区

橋本ひろき

Hashimoto Hiroki

現3期 昭和54年6月生まれ
中京大学法学部卒業

[役職]

- ・財政福祉委員会 委員
- ・産業・歴史文化・観光戦略特別委員会 委員
- ・党市会議員団 政審会長

皆さんの声を大切に、
生活者の目線で。

- 議員活動の原動力は、地域にお住まいの方々からいただく声です。地域にはそこにお住まいの方にしかわからない課題があります。誰が主役で、誰のために、何のためにかをしっかり見据え、市政に取り組んでまいります。

瑞穂区

土居よしもと

Doi Yoshimoto

現1期 昭和41年4月生まれ
愛媛県立宇和島高等学校卒業

[役職]

- ・議会運営委員会 委員
- ・財政福祉委員会 委員
- ・公社対策特別委員会 副委員長
- ・党市会議員団 幹事

熱田区

森ともお

Mori Tomoo

現1期 昭和46年3月生まれ
愛知教育大学卒業

[役職]

- ・総務環境委員会 委員
- ・安心・安全なまちづくり対策特別委員会 副委員長

熱田区を元気に!
安心して
暮らせる街を!

「そだてたいまもりたいあったか熱田」をモットーに、約21年間の小学校教員としての経験をも十分に活かし、未来を担うすべての子どもたちのために精一杯頑張ります。安心して暮らせる名古屋市・熱田区となるよう、皆様方からいただいた声を、しっかりと市政の場に届けます!

PICK UP!

議会だより 2月定例会 ～代表質問より～

TOPICS1

市民税減税は庶民に恩恵なし

名古屋市では市民税一律減税が6年続いています。市民の皆さんから「減税で生活が楽になった」とか「消費に充てられるお金が増えた」という話は聞こえてきません。

117億円を市民に還元する減税ですが、そのほとんどは高額所得者・大企業にばかり還元されています。市民の約8割は減税ゼロ、もしくは5000円以下の減税であるのに対し、もっとも減税額の大きかった人は373万円。法人市民税では、中小企業のほとんどが減税額2500円以下であるのに対し、上位1%の大企業に減税総額の65%(約23億円)が還元されています。もっとも減税額が大きかった企業の減税額は1億4600万円。

これを「庶民減税」などと言えるはずがありません。

TOPICS2

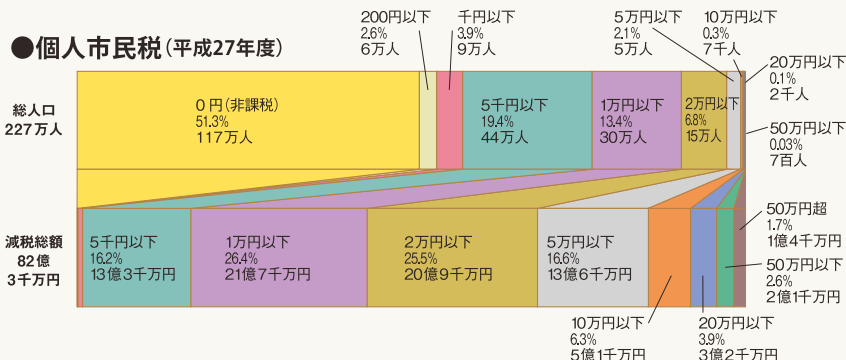
特定不妊治療、独自に支援制度

名古屋市は特定不妊治療の経済的負担を軽減するための支援制度を創設します。精神的・体力的にも大変な負担がかかる体外受精・顕微授精について、現在行われている国の補助制度に加え、市が独自の補助制度を作り、新たな生命の誕生を応援します。「生まれてくる前の子どもに対してもしっかりと支援をする」、これが未来への投資です。

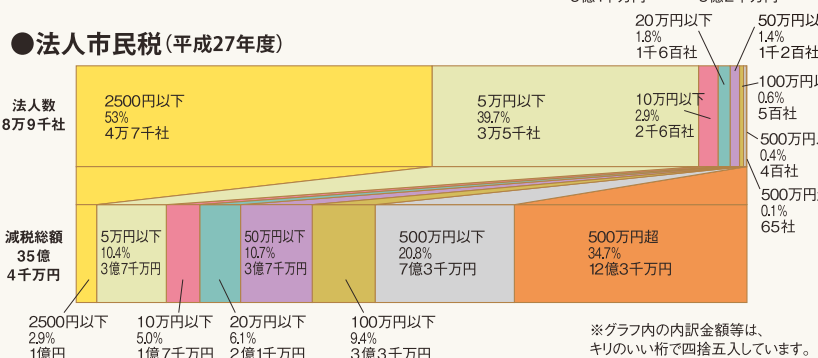
本会議において、橋本ひろき氏が民進党名古屋会議団を代表して河村市長に質問をしました。持ち時間71分の大部分を、「人への投資、未来への投資」というテーマに充て、子育て支援については、子育てバウチャーや特定不妊治療費助成など河村市長から具体的な答弁も引き出すことができました。残念なのは市民税減税によって、本来ならば未来への投資に使うべき予算をいわゆる「お金持ち」に還してしまっていること。詳しくは下記をご参照ください。



●個人市民税(平成27年度)



●法人市民税(平成27年度)



※グラフ内の内訳金額等は、キリのいい桁で四捨五入しています。

民進党市議団に新たな仲間が加わりました

昨年12月に行われた名古屋市の補欠選挙において、**ひび美咲氏**が初当選しました。急性白血病で35歳の若さで急逝した故ひび健太郎議員の遺志を継ぎ、活動を続けています。2月定例会では本会議に初登壇し、名古屋市長に骨髄移植ドナー登録制度の充実を求めました。これに対して河村市長からは、「ドナー本人や勤務先への助成について、県にも働きかけをしていく」と答弁を引き出すことができました。



MINSHIN *Press*

|2017年 春号

号外

中川区／中村区版



私たちは
民進党名古屋市議団です。

私たちは、約束します。

子どもたちの
幸せな未来のために
頑張ります!

未来を担う子どもたち一人ひとりが大きな夢を抱き、心豊かに、健やかに成長することができる「夢あふれ、心通い合うまちなごや」の実現とともに、「平和な世界をリードする日本」を手渡す大人社会の責任を果たします。

中村区

うかい春美

Ukai Harumi
現5期 昭和24年3月生まれ
愛知教育大学卒業
[役職]
●総務環境委員会 委員
●都市活力向上特別委員会 委員
※党市会議員団 副団長

Contents

チルドレン ファースト

子育て世代が、笑顔で暮らせるまちに

安心・豊かさ・平和の継承

市民のいのちと生活を守り、
未来へつなげていきます

都市魅力の向上

国際的な都市間競争を勝ち抜き、強い名古屋に

生かします
あなたの声を
明るく未来に。

中川区

久野浩平

Kuno Kouhei
現12期 昭和11年9月生まれ
法政大学法学部法律学科卒業
[役職]
●財政福祉委員会 委員
●安心・安全なまちづくり対策特別
委員会 委員
※党市会議員団 常任顧問